

静岡大学の未来への挑戦

静岡・浜松が迎える100周年

浜松高等工業学校の創設

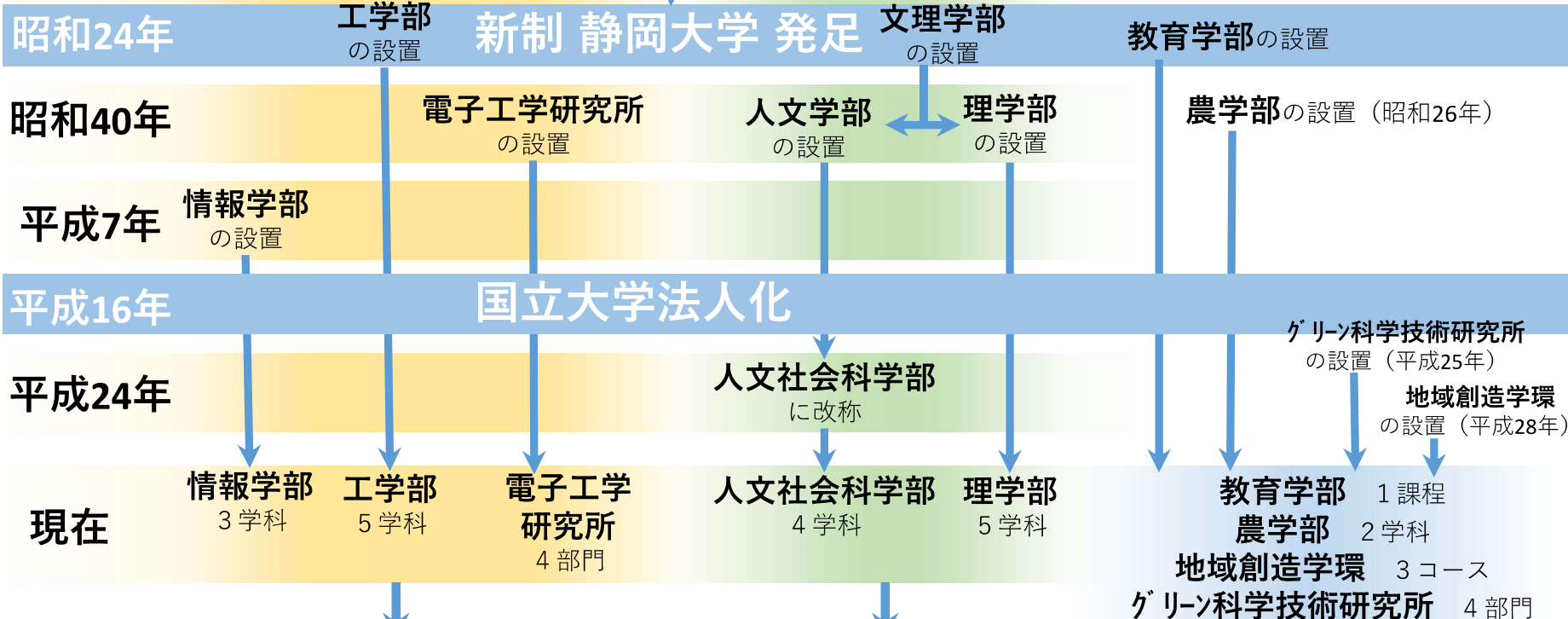


静岡高等学校の創設



大正11
(1922)年

来年度100周年を迎える部局の他にも、以下の学部等が設置され、今日まで共に歩んできました。



令和4(2022)年に100周年を迎え、さまざまな事業を行います。



100年の卓越した実績を礎に、次の100年を目指して



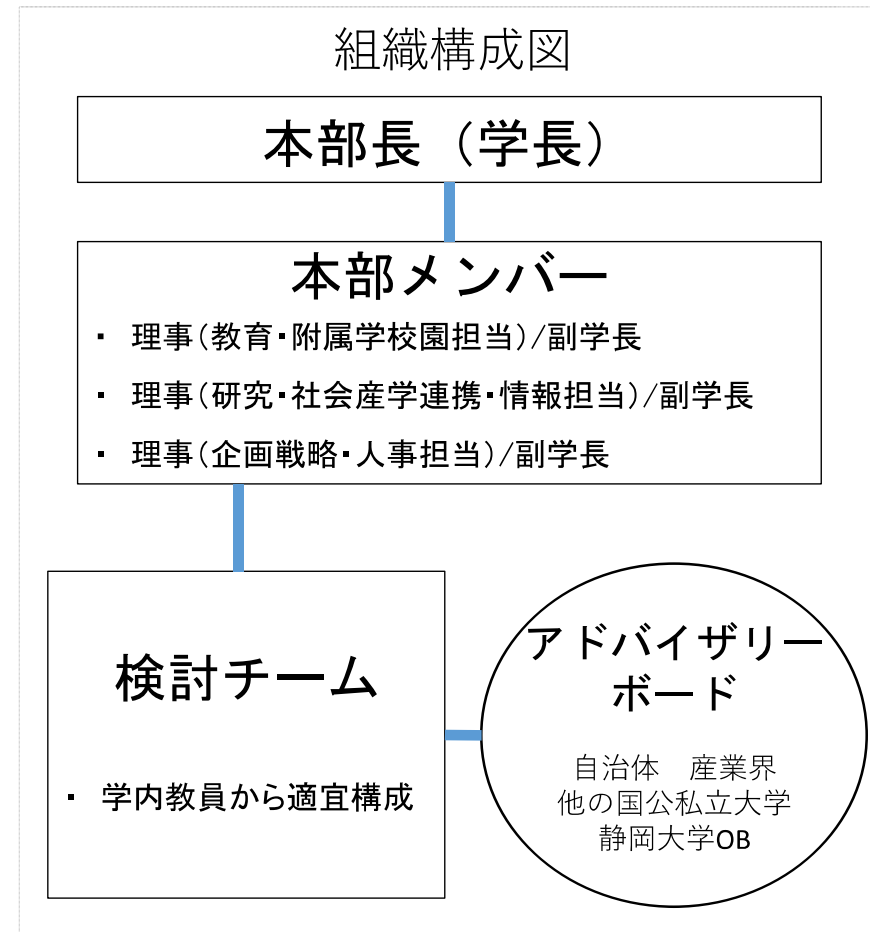
静大改革の司令塔となる 「静岡大学未来創成本部」について

1 概要

- 令和4年4月に設置予定
(令和3年10月に準備室設置済み)
- 第4期中期目標・中期計画に基づく取組を推進
→ 地域社会との共創を実現
- 学内資源の活性化を目的に教育研究組織の改編(新学部の創設)等の戦略の策定と学内外での調整
→ 未来に向けた集中と選択

2 構成

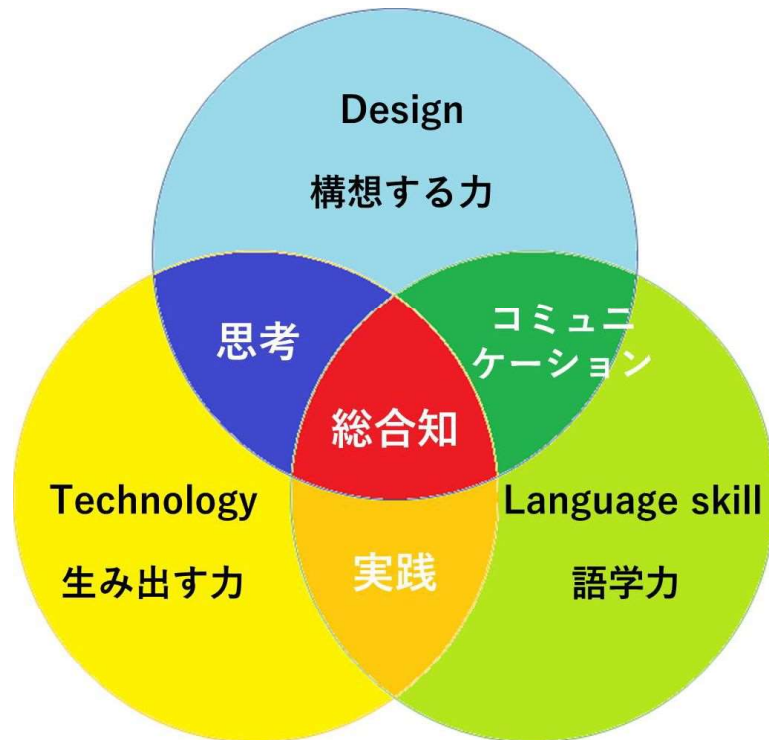
学長を本部長として、必要な学内人員を集めると共に、外部からの幅広い専門家の知見を活用する体制を構築



新学部を目指す未来像

静岡大学は、新しい価値観や社会の仕組みを創造する力を育成するため、主体的な学びにより習得した「総合知^{*}」を基礎として、必要な姿勢や能力となる「思考力」、「実践力」、「コミュニケーション力」を養成します。

課題への取組みを通じて、これからの社会で活躍するために必要な視点・知識・技能を自ら成長させることができます。



課題思考力

社会の問題に解決のために適切に課題を設定でき、個々との知を組み合わせることで解決策を思考する力

連携実践力

課題解決に向け、多様な立場の人たちと多面的、多角的に議論・連携し、実現可能な方策を構想、実践する力

国際コミュニケーション力

関係する多様なステークホルダーに課題解決策を説明し、理解と協力を得る力

※ 総合知とは、人文学、社会科学、自然科学のどの分野であれ、一つの専門を深く学ぶとともに、他分野にも関心を広げ、幅広い知識と論理的思考力、規範的判断力を身につけていること